



FUJIEDA ROTARY CLUB 藤枝ロータリークラブ会報



例 会：毎週水曜日 小杉苑
藤枝市青木2-35-30 TEL:054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL:054-647-2300
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org FAX:054-647-2040

会長:大長 昭子 副会長:島村 武慶 幹事:大塚 高弘 副幹事:玉木 潤一郎

2017-2018年度 R1テーマ
ロータリー:変化をもたらす

♪ソング...我らが藤枝ロータリー
♪ソングリーダー...土屋 秀夫君

第2196回
通常例会/小杉苑

会長報告

大長 昭子君

今週も暑さが続くよう
ですお体を大切に
なさってください。

ガバナー公式訪問
報告

8月9日(水) 松

村ガバナー、岡村筆頭副幹事、金丸副幹事、
福島ガバナー補佐をお迎えし、藤枝南 RC との
ガバナー公式訪問合同例会を小杉苑にて開催致
しました。

例会前、10時より地区ガバナーと話し合いがあり、
会長の私、島村副会長・大塚幹事・青島(克)
理事が出席致しました。

内容は、地区の重点目標

1. ロータリークラブ・セントラルの100%活用
2. 会員増強目標の達成
3. ロータリー公共イメージの向上と END POLIO
への支援について、当クラブの取組状況、ご意
見・情報交換を行いました。

クラブ目標の入力のご指導、ロータリーカードの
加入促進、11月11・12日 焼津グランドホテル
での地区大会、2018年6月24日~27日カナダ
トロントで開催される国際大会への参加依頼が
ありました。

合同例会では、ガバナー自己紹介、ロータリーの
取り組みについて、ロータリーの精神は不滅で
あり、外に向けてポリオ撲滅、内に向けては、
環境の変化に対応するためのクラブ運営が必要
とのお話でした。

後進国はパワーが増加しており、先進国は少子
高齢化により例会減、会費減の取り組みにより
成功している。

また、サンディエゴ国際協議会報告では、未来の



ロータリーについて議論され、ロータリアンの
目的意識・自立、特徴あるロータリーへ変化が
必要とお話しされました。

本日のクラブ協議会は、9月20日実施のポリオ
デイプロジェクトについて、公共イメージ向上
委員会土屋(秀)リーダーより、卓話は柳原保健
担当リーダーからの話です。

理事会報告

大塚 高弘君

- ・9・10月プログラムについて、承認されました。
- ・2016-17 年度決算報告について、次回に継続
審議になりました。
- ・ガバナー公式訪問について、ホスト藤枝 RC で
藤枝南に進行表を渡し、理事会にて協議して
頂く事になりました。
- ・納涼夜間例会について、承認されました。
- ・早朝例会について、日時・内容のみ承認。詳細は
次回の理事会まで継続審議。
- ・櫻井元会員のプレゼントについて、皆様のご協力
のおかげで33,000円集まりました。後日贈呈品
を決めます。
- ・順心高校全国大会出場支援について、2口
10,000円を支援寄付することが承認されました。

幹事報告

大塚 高弘君

- ・第2620地区より
平成29年九州北部豪雨災害への支援について、
お願いが届きました。募金箱を一緒に回させて
頂きます。
松村ガバナーより、8月9日ガバナー公式訪問の
お礼状が届きました。
- ・地区財団委員会より
6月までのロータリーカードの入会数実績表が
届きました。(当クラブのカード所有人数3名
です)
- ・藤枝市ゴルフ連盟より
平成29年10月9日(月)開催の藤枝市民
ゴルフ大会の参加者募集のご案内が届きました。

出席報告

仲田 廣志君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
32/42 69.56%	35/42 83.33%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○青島鉄君 ○大杉君 ○菅原君 ○鈴木邦君
○玉木君 ○仲田晃君 ○間野君 江崎晴君
落合君 渡辺篤君

(2)メイクアップ者

江崎 晴城君(焼津南)

スマイルBOX

間野 日出男君

・誕生日祝いありがとうございました。

鈴木舜光君

スマイル累計額 36,000円

クラブ協議会

公共イメージ向上担当
土屋 秀夫君



《ポリオプロジェクトについて》
公共イメージ向上担当の土屋です
来月、予定していますポリオデープロジェクト
について、ご案内します。
まずは、このポリオデープロジェクトって何と
いうことですが 今年度の地区目標の一つに、
「ロータリーの公共イメージの向上とEND
POLIOへの支援」ということが掲げられて
いて、その活動の一つということになります
その中では世界ポリオデープロジェクトの実施と
いうことで、10月24日(火)が世界ポリオデー
だそうですが、この世界ポリオデーに合わせて
静岡・山梨の両県でロータリークラブPRの新聞
全面広告の掲載が予定されています。

それに先立って、9月1日から10月23日の
期間に、2620地区内79クラブでエンド

ポリオのPR & 募金活動を展開し 公共イメ
ージの向上を図ると なっています。

各クラブの募金活動は新聞社の取材・掲載や、
SNSを活用した発信とともに、ポリオプラス
基金への寄付に充てようということになって
いまして 各クラブでも、この地区目標に沿った
活動・キャンペーンを行うということになって
います。

この活動の趣旨ですが(地区研修・協議会資料から)
今、世界には200万人にも非営利団体があり、
ボランティアや寄付といった支援を求め競い
合っている状況にあります。

ロータリーもライオンズもしかりです。

しかしながらその団体の違いが判る人は全く
皆無と言ってよいでしょう。

だからこそ、他団体との差別化を通して、ロータ
リー本来の公共イメージを向上することが 今、
求められているのです。

ロータリーをもっと世間の方々に知ってもらう
ことが急務なのです。

では、ロータリーで一番明確に他の非営利団体
との違いを強調できるものは、一体何でしょうか?
それが1979年からロータリーが一貫して取り
組んでいる「END POLIO NOW」なのです。
特に1985年以降は世界中のロータリー会員が
ボランティアや募金活動を通して、ポリオ撲滅
活動に16億ドル以上を寄付してきました。

その結果発症数は年間35万件から250件
未満(0.07%)まで減少しています。

現在、野生ポリオウィルスによる感染が続いて
いるのは、アフガニスタン、ナイジェリア、パキ
スタンの3か国のみになっています。

1980年時に比べると、99%の減少。そう!
残すところあとわずか1%!

しかしこの1%を完全に撲滅しなければ、今後
40年間に発症数が1,000万件に跳ね上がる
と専門家は予想しています。

今一度お考え下さい。自分の子供たちに、そして
孫達に、このリスクを残してもよいものでしょ
うか?

私たち、国際ロータリー2620地区でも「ポリオ
のない世界」を実現するために10月24日の
「世界ポリオデー」を前に、撲滅活動への認識を
高め、募金を集める活動を実施したいと思います。
ポリオの現実を一人でも多くの人に知らせま
しょう!

ポリオの恐ろしさを多くの方々に知ってもらいましょう！

そして、この活動を通してロータリーの存在意義をしっかりと地域に、世界にアピールしましょう。

そこで藤枝クラブのポリオデープロジェクト実施概要ですが 10月24日の世界ポリオデーに合わせた街頭募金活動を予定しています
活動による募金はポリオ基金へ寄付をするのと同時に、ロータリーの活動をクラブ外へPRすることにより、公共イメージの向上につなげたいと思います。

実施日は9月20日(水)7:00~8:00

実施場所はJR藤枝駅の北口、南口の駅前広場で実施

(南北横断通路と北口の一部(軒下部分)は使用不可)

参加者はクラブ会員及び藤枝順心高校インターアクトクラブのメンバー、と大長会長にご協力をいただいて、障がい者施設の方々を予定。

南口、北口それぞれ2手に分かれて、募金箱、のぼり、ポスターをもってポリオ撲滅のPRと募金活動を1時間程度実施。

なお当日は、早朝例会とする予定ですが、通常の早朝例会とは異なり参加できない場合は欠席扱いとなる予定です。

なお、役割分担など詳細は別途調整させていただきたいと思います。

■ 会員卓話

保健担当
柳原 寿男君



「認知症、がん、糖尿病の今」

認知症もその原因はいろいろあるが、典型がアルツハイマー型認知症で、脳神経細胞の死滅、脱落、脳萎縮で起きる。根本的治療法は現在無く、症状の進行を遅らせるであろう程度の薬剤しか開発されていない。又、認知機能の低下は、中高年に限らず20才代30才代からすでに始まっているとのこと。最近の研究では生活習慣の改善や、或種のトレーニングによって認知機能

向上も可能とのこと。日常生活では積極的に出かけて、人と出会い、しゃべる。楽しいこと、好きなことを実行する。ストレスは抱え込まず発散し、十分な睡眠をとる。早起きして規則正しい一日を送る。軽い運動(散歩、ストレッチ、筋トレ)でよいから毎日、無理せず続ける等々。

生涯でがんに罹患する人は2分の1、死ぬ人は3分の1と言われる時代である。年間38万人以上の方ががんで死亡、そのうち7万人以上が肺がんである。肺がんの最大の原因は喫煙であり、非喫煙者のかんになるリスクを1とすると、肺がんは約5倍になります。しかし禁煙すると15年位で肺の状態は元に戻るそうです。かく言う私も18才から約22年、40才位までタバコを吸っておりました。止めて40数年経ちます。あのまま吸っていたら多分、今の私は存在しなかったと思います。

糖尿病の治療は、7,8年前からの新薬の出現で、大きく変化しました。過去50年続いた治療法は、3種類の新薬出現で画期的な進歩を遂げた様です。
※ 無理せず自然に禁煙できる方法もあります。

■ ロータリーの友紹介 栗原 毅君

『ロータリーの友 8月号紹介』



(担当/仲田廣君)